

知られざる鳥取の名所を巡る

鳥取の旅はグルメと温泉がオススメ。日本海に面した良港を抱え温泉は良質だ。そんな魅力あるスポットを訪ねてみた。

◎浜辺で潮騒をBGMに浸かる皆生温泉

皆生温泉

●かいけおんせん
1900年に漁師に発見された、弓ヶ浜半島の海沿いに湧く温泉。日本の白砂青松百選に選ばれた浜辺で、南の大山、眼前の日本海を借景に、潮騒を聴きながら浸かる贅沢を味わえる。

菊乃家

皆生温泉の海沿いに立つ菊乃家。活け松葉ガニをはじめとする新鮮な魚介料理が味わえる。食事を堪能したら温泉へ。檜の露天風呂に海を眺めながら浸かる心地よさ。

鳥取県米子市皆生
温泉4-29-10 ☎
0859-22-6560
／客室31室／1
泊2食19995円
～／<http://www.kaiekekunoya.com/>



←生け花や仮名書など、和の心をしつらえた客室。ゆったりと落ち着いた時間が流れる。

塩湯温泉。掛け流しの気持ちのよい大浴場と露天風呂。

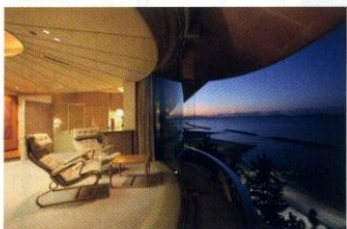
鳥取県米子市皆生温泉4-19-10 /
☎0859-33-0001 / 客室79室 /
1泊2食25200円～ / <http://www.kaie-grandhotel.co.jp/>

和室を中心に、洋室温泉露天風呂付きの客室が選べ、贅沢なつくりの本館やラウンジで寛ぐこともできる。大浴場と露天風呂、4つの貸し切り風呂があり、宿泊プランも充実。

華水亭



↑男性用露天風呂の「松風の湯」は寝湯の岩風呂。大海原をゆったりとした気分で望める特等席。



↑特別室から、白砂青松の海岸と、日本海の雄大な景色や漁り火を眺める。



↑アロマトリートメントやフェイシャルエステなども利用可(女性限定)。

鳥取は言わずもがな、日本海に面した良港を抱え、新鮮な魚介が常に味わえる。また、温泉は歴史があり、良質の湯を今なおコンコンと湧き出している。鳥取はのんびりと、心と体を癒しに訪れるのに、実に最適な地域なのだ。

すでにシーズンは終わってしまったが、漁獲量日本一の松葉ガニは新鮮であればあるほど美味なので、鳥取に行つて食べるに限る。もさえびやハタハタ、赤ガレイ、トビウオ、クロマグロなどもおいしい。また、夏に行くなら、夜の漁で釣り上げられたシロイカにぜひチャレンジしたい。6～8月が旬のイワガキは、産卵期を迎え身がはちきれんばかり。クリーミーで濃厚な味を堪能しよう。

魚介以外にも二十世紀梨やスイカ、メロン、柿などのフルーツも人気。お土産に購入するのもいい。

さて、旅館や料理屋でお腹が満足したら温泉に直行。皆生温泉や三朝温泉などは、それぞれ情緒があり、1泊ずつ泊まり歩き周辺を巡るのも楽しい。